

LM・ブラジル国債ファンド (毎月分配型)

運用報告書 (全体版)

第138期	決算日	2020年4月13日
第139期	決算日	2020年5月13日
第140期	決算日	2020年6月15日
第141期	決算日	2020年7月13日
第142期	決算日	2020年8月13日
第143期	決算日	2020年9月14日

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	当ファンドは、主に「LM・ブラジル国債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にブラジル・レアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的成長を目指します。	
主要運用対象	当ファンド	「LM・ブラジル国債マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	LM・ブラジル国債マザーファンド	ブラジル・レアル建てのブラジル国債を主要投資対象とします。
組入制限	外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	決算日(原則として毎月13日。休業日の場合は翌営業日)に、収益分配方針に基づいて分配を行います。	

当報告書に関するお問い合わせ先：
レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

お問い合わせ窓口

電話番号：03-5219-5947

－ 受益者のみなさまへ －

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「LM・ブラジル国債ファンド(毎月分配型)」は、2020年9月14日に第143期の決算を行いましたので、第138期、第139期、第140期、第141期、第142期、第143期の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

〒100-6536 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。

<https://www.leggmason.co.jp>

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		税 込 分 配	み 金 期 騰 落	中 率			
	円	円	%	%	%	百万円	
114期(2018年4月13日)	4,889	35	△ 2.7	97.0	—	49,811	
115期(2018年5月14日)	4,678	35	△ 3.6	96.1	—	46,829	
116期(2018年6月13日)	4,452	35	△ 4.1	95.6	—	44,168	
117期(2018年7月13日)	4,366	35	△ 1.1	100.0	—	43,217	
118期(2018年8月13日)	4,280	35	△ 1.2	98.6	—	42,927	
119期(2018年9月13日)	3,981	35	△ 6.2	97.6	—	40,484	
120期(2018年10月15日)	4,457	35	12.8	97.0	—	45,413	
121期(2018年11月13日)	4,557	35	3.0	96.0	—	44,505	
122期(2018年12月13日)	4,462	35	△ 1.3	95.7	—	43,240	
123期(2019年1月15日)	4,471	35	1.0	98.7	—	44,845	
124期(2019年2月13日)	4,540	35	2.3	98.6	—	45,201	
125期(2019年3月13日)	4,449	35	△ 1.2	97.9	—	44,053	
126期(2019年4月15日)	4,374	35	△ 0.9	97.2	—	43,464	
127期(2019年5月13日)	4,207	35	△ 3.0	96.5	—	42,031	
128期(2019年6月13日)	4,298	25	2.8	96.0	—	43,582	
129期(2019年7月16日)	4,448	25	4.1	99.1	—	45,074	
130期(2019年8月13日)	4,086	25	△ 7.6	98.8	—	42,254	
131期(2019年9月13日)	4,104	25	1.1	97.8	—	43,224	
132期(2019年10月15日)	4,093	25	0.3	97.8	—	43,539	
133期(2019年11月13日)	4,062	25	△ 0.1	97.4	—	43,539	
134期(2019年12月13日)	4,133	25	2.4	96.8	—	45,196	
135期(2020年1月14日)	4,089	25	△ 0.5	99.4	—	44,665	
136期(2020年2月13日)	3,892	25	△ 4.2	98.9	—	42,843	
137期(2020年3月13日)	3,267	25	△15.4	98.2	—	36,014	
138期(2020年4月13日)	3,235	25	△ 0.2	97.5	—	34,914	
139期(2020年5月13日)	2,785	15	△13.4	97.5	—	29,885	
140期(2020年6月15日)	3,272	15	18.0	96.7	—	34,627	
141期(2020年7月13日)	3,087	15	△ 5.2	99.2	—	32,111	
142期(2020年8月13日)	3,012	15	△ 1.9	98.7	—	30,834	
143期(2020年9月14日)	3,043	15	1.5	97.9	—	30,671	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
			騰 落 率	騰 落 率		
第138期	(期 首) 2020年 3月13日	円 3,267	% —		% 98.2	% —
	3月末	3,201	△ 2.0		98.2	—
	(期 末) 2020年 4月13日	3,260	△ 0.2		97.5	—
第139期	(期 首) 2020年 4月13日	3,235	—		97.5	—
	4月末	3,073	△ 5.0		97.5	—
	(期 末) 2020年 5月13日	2,800	△13.4		97.5	—
第140期	(期 首) 2020年 5月13日	2,785	—		97.5	—
	5月末	3,062	9.9		97.3	—
	(期 末) 2020年 6月15日	3,287	18.0		96.7	—
第141期	(期 首) 2020年 6月15日	3,272	—		96.7	—
	6月末	3,075	△ 6.0		96.5	—
	(期 末) 2020年 7月13日	3,102	△ 5.2		99.2	—
第142期	(期 首) 2020年 7月13日	3,087	—		99.2	—
	7月末	3,139	1.7		98.9	—
	(期 末) 2020年 8月13日	3,027	△ 1.9		98.7	—
第143期	(期 首) 2020年 8月13日	3,012	—		98.7	—
	8月末	2,997	△ 0.5		98.7	—
	(期 末) 2020年 9月14日	3,058	1.5		97.9	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

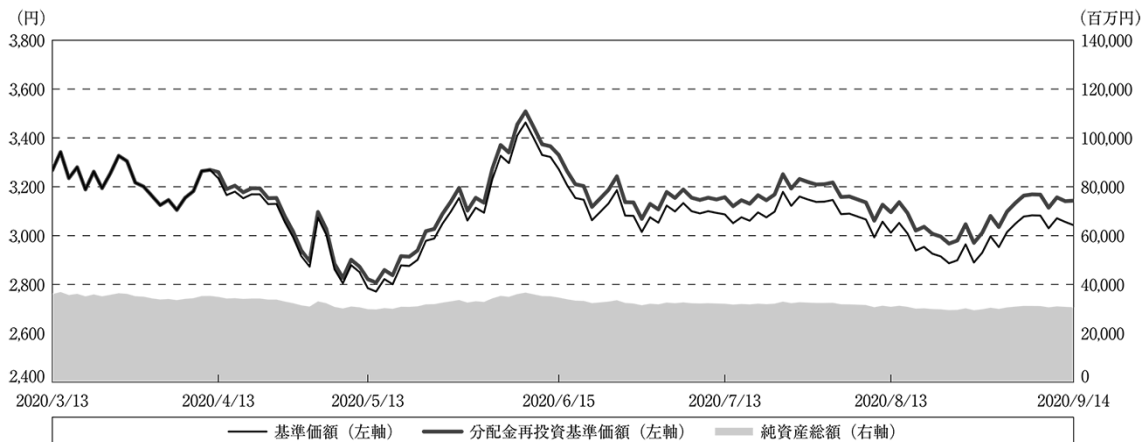
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2020年3月14日～2020年9月14日)



第138期首：3,267円

第143期末：3,043円 (既払分配金(税込み):100円)

騰落率：△ 3.8% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2020年3月13日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当作成期の当ファンドのパフォーマンス(騰落率)はマイナス(分配金再投資ベース)となりました。ブラジルリアル安・円高を反映して、為替損益がマイナスとなったことが主に影響しました。一方、ブラジルの金利水準が相対的に高いことから、公社債利金を手堅く確保しました。また、公社債損益についても、債券利回りが低下したことからプラスとなりました。

当作成期のブラジル債券市場では、利回りが低下（価格は上昇）しました。

期の前半は、ブラジル国内で新型コロナウイルスの感染が広がったことから、リスク回避の動きが強まり、利回りは上昇（価格は下落）する場面もありました。しかし、その後、ブラジル中央銀行（BCB）が追加利下げや積極的な流動性供給策を打ち出したことなどを受け、利回りは低下しました。

期の半ばは、主要国の経済活動再開により世界経済への回復期待が高まる中、投資家のリスク回避姿勢が緩んだことなどから、利回りは低下基調となりました。その後、ブラジルの新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからないことなどから、利回りに上昇圧力がかかる場面もみられましたが、BCBによる追加利下げなどが上昇を抑えました。

期の後半は、BCBによる追加利下げ観測や新型コロナウイルスのワクチン開発への期待感などを背景に、利回りは低下しました。しかし、その後、ブラジルの財政赤字の拡大懸念や、政局の不透明感が意識されたことなどから、利回りはやや上昇しました。



当作成期のブラジルリアル・円相場は、リアル安・円高となりました。

期の前半は、ブラジル国内で新型コロナウイルスの感染が広がったことから、リスク回避の動きが強まり、リアル売り・円買いが優勢となりました。BCBが追加利下げや積極的な流動性供給策を打ち出したことなども、リアル売りにつながりました。

期の半ばは、主要国の経済活動再開により世界経済への回復期待が高まる中、リスク回避姿勢が緩んだことなどから、リアル買い・円売りが優勢となりました。しかし、その後、ブラジルの新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからないことや、BCBが追加利下げを決定したことなどをを受けて、リアル売り・円買いが優勢となりました。

期の後半は、ワクチン開発への期待などを背景に、リアルは対円で底堅く推移しましたが、BCBによる追加利下げや米中関係の悪化懸念が強まると、下落に転じました。その後は、主要国の株高などをを受けてリスク回避姿勢が和らいだことなどから、リアルは対円で値を戻しました。



当ファンドは、主に「LM・ブラジル国債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用に努めてまいりました。また、外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。当作成期においては、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築しました。

分配金

(2020年3月14日～2020年9月14日)

分配金につきましては、基準価額動向や保有債券の利子収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第138期	第139期	第140期	第141期	第142期	第143期
	2020年3月14日～ 2020年4月13日	2020年4月14日～ 2020年5月13日	2020年5月14日～ 2020年6月15日	2020年6月16日～ 2020年7月13日	2020年7月14日～ 2020年8月13日	2020年8月14日～ 2020年9月14日
当期分配金 (対基準価額比率)	25 0.767%	15 0.536%	15 0.456%	15 0.484%	15 0.496%	15 0.491%
当期の収益	15	13	15	13	14	15
当期の収益以外	9	1	—	1	0	—
翌期繰越分配対象額	207	205	211	210	210	213

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行い、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築してまいります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年3月14日～2020年9月14日)

項 目	第138期～第143期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 27	% 0.864	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(13)	(0.418)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(13)	(0.418)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.028)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	3	0.093	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.083)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 等 費 用)	(0)	(0.007)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に 係る費用
合 計	30	0.957	
作成期間の平均基準価額は、3,091円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

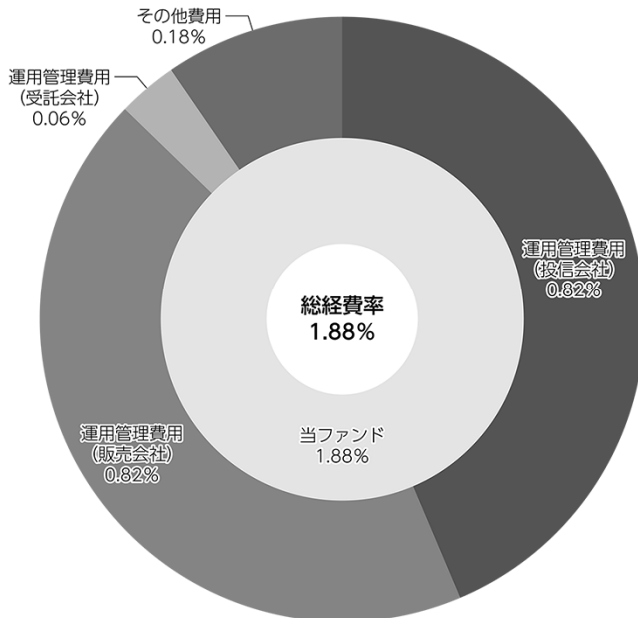
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.88%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2020年3月14日～2020年9月14日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第138期～第143期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
LM・ブラジル国債マザーファンド		492,673	677,156	3,715,386	5,059,821

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2020年3月14日～2020年9月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

(2020年3月14日～2020年9月14日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2020年3月14日～2020年9月14日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2020年9月14日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第137期末	第143期末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
LM・ブラジル国債マザーファンド		25,810,864	22,588,151	30,868,968

(注) 単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2020年9月14日現在)

項 目	第143期末	
	評 価 額	比 率
LM・ブラジル国債マザーファンド	千円 30,868,968	% 99.7
コール・ローン等、その他	84,568	0.3
投資信託財産総額	30,953,536	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) LM・ブラジル国債マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(38,746,572千円)の投資信託財産総額(39,269,557千円)に対する比率は98.7%です。

(注) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、9月14日における邦貨換算レートは1米ドル=106.18円、1ブラジルリアル=19.96円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第138期末	第139期末	第140期末	第141期末	第142期末	第143期末
	2020年4月13日現在	2020年5月13日現在	2020年6月15日現在	2020年7月13日現在	2020年8月13日現在	2020年9月14日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	35,274,649,372	30,180,916,143	34,859,530,398	32,380,726,946	31,229,144,723	30,953,536,043
LM・ブラジル国債マザーファンド(評価額)	35,236,212,213	30,092,726,646	34,837,860,261	32,310,662,182	31,034,667,915	30,868,968,177
未収入金	38,437,159	88,189,497	21,670,137	70,064,764	194,476,808	84,567,866
(B) 負債	359,872,764	295,262,469	231,794,384	269,175,822	395,115,321	281,829,238
未払収益分配金	269,829,163	160,987,626	158,743,241	156,041,363	153,555,073	151,207,186
未払解約金	38,437,159	88,189,497	21,670,137	70,064,764	194,476,808	84,567,866
未払信託報酬	51,037,965	45,566,770	50,804,946	42,585,226	46,551,982	45,571,240
その他未払費用	568,477	518,576	576,060	484,469	531,458	482,946
(C) 純資産総額(A-B)	34,914,776,608	29,885,653,674	34,627,736,014	32,111,551,124	30,834,029,402	30,671,706,805
元本	107,931,665,284	107,325,084,262	105,828,827,921	104,027,575,413	102,370,048,735	100,804,791,328
次期繰越損益金	△ 73,016,888,676	△ 77,439,430,588	△ 71,201,091,907	△ 71,916,024,289	△ 71,536,019,333	△ 70,133,084,523
(D) 受益権総口数	107,931,665,284口	107,325,084,262口	105,828,827,921口	104,027,575,413口	102,370,048,735口	100,804,791,328口
1万口当たり基準価額(C/D)	3,235円	2,785円	3,272円	3,087円	3,012円	3,043円

<注記事項>

(注) 元本の状況

当作成期首元本額 110,239,242,525円
 当作成期中追加設定元本額 2,161,197,381円
 当作成期中一部解約元本額 11,595,648,578円

(注) 元本の欠損

純資産総額が元本額を下回っており、その差額は70,133,084,523円であります。

○損益の状況

項 目	第138期	第139期	第140期	第141期	第142期	第143期
	2020年3月14日～ 2020年4月13日	2020年4月14日～ 2020年5月13日	2020年5月14日～ 2020年6月15日	2020年6月16日～ 2020年7月13日	2020年7月14日～ 2020年8月13日	2020年8月14日～ 2020年9月14日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	△ 24,266,101	△ 4,622,512,418	5,351,557,734	△ 1,723,306,355	△ 565,402,816	507,012,668
売買益	24,174,540	25,171,773	5,417,044,356	35,627,902	5,436,767	547,352,032
売買損	△ 48,440,641	△ 4,647,684,191	△ 65,486,622	△ 1,758,934,257	△ 570,839,583	△ 40,339,364
(B) 信託報酬等	△ 51,606,442	△ 46,085,346	△ 51,381,006	△ 43,069,695	△ 47,083,440	△ 46,054,186
(C) 当期損益金(A+B)	△ 75,872,543	△ 4,668,597,764	5,300,176,728	△ 1,766,376,050	△ 612,486,256	460,958,482
(D) 前期繰越損益金	△26,808,966,473	△26,803,531,717	△31,018,552,533	△25,339,007,919	△26,754,467,863	△27,035,781,336
(E) 追加信託差損益金	△45,862,220,497	△45,806,313,481	△45,323,972,861	△44,654,598,957	△44,015,510,141	△43,407,054,483
(配当等相当額)	(2,344,299,748)	(2,229,249,192)	(2,179,656,385)	(2,143,308,170)	(2,109,629,478)	(2,077,773,575)
(売買損益相当額)	(△48,206,520,245)	(△48,035,562,673)	(△47,503,629,246)	(△46,797,907,127)	(△46,125,139,619)	(△45,484,828,058)
(F) 計(C+D+E)	△72,747,059,513	△77,278,442,962	△71,042,348,666	△71,759,982,926	△71,382,464,260	△69,981,877,337
(G) 収益分配金	△ 269,829,163	△ 160,987,626	△ 158,743,241	△ 156,041,363	△ 153,555,073	△ 151,207,186
次期繰越損益金(F+G)	△73,016,888,676	△77,439,430,588	△71,201,091,907	△71,916,024,289	△71,536,019,333	△70,133,084,523
追加信託差損益金	△45,965,039,139	△45,825,465,768	△45,323,972,861	△44,654,598,957	△44,015,510,141	△43,407,054,483
(配当等相当額)	(2,241,848,680)	(2,210,473,347)	(2,180,202,776)	(2,143,673,710)	(2,109,937,010)	(2,078,035,005)
(売買損益相当額)	(△48,206,887,819)	(△48,035,939,115)	(△47,504,175,637)	(△46,798,272,667)	(△46,125,447,151)	(△45,485,089,488)
分配準備積立金	-	-	56,123,748	42,717,402	41,492,217	71,748,385
繰越損益金	△27,051,849,537	△31,613,964,820	△25,933,242,794	△27,304,142,734	△27,562,001,409	△26,797,778,425

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、委託者報酬のうち販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の50相当額を支払っております。

<分配金の計算過程>

決 算 期	第138期	第139期	第140期	第141期	第142期	第143期
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益(費用控除後)	167,010,521	141,835,339	214,866,989	143,802,102	153,124,267	182,194,168
(B) 有価証券売買等損益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0	0	0	0	0	0
(C) 収益調整金	2,344,667,322	2,229,625,634	2,180,202,776	2,143,673,710	2,109,937,010	2,078,035,005
(D) 分配準備積立金	0	0	0	54,956,663	41,923,023	40,761,403
分配対象収益額(A+B+C+D)	2,511,677,843	2,371,460,973	2,395,069,765	2,342,432,475	2,304,984,300	2,300,990,576
(1万円当たり収益分配対象額)	(232)	(220)	(226)	(225)	(225)	(228)
収 益 分 配 金	269,829,163	160,987,626	158,743,241	156,041,363	153,555,073	151,207,186
(1万円当たり収益分配金)	(25)	(15)	(15)	(15)	(15)	(15)

○分配金のお知らせ

	第138期	第139期	第140期	第141期	第142期	第143期
1万口当たり分配金(税込み)	25円	15円	15円	15円	15円	15円

◇分配金をお支払いする場合

分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◇分配金を再投資する場合

お手続き分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰入れて再投資いたします。

◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と元本払戻金（特別分配金）に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。

分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。

◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2020年9月14日現在）

<LM・ブラジル国債マザーファンド>

下記は、LM・ブラジル国債マザーファンド全体(28,664,059千口)の内容です。

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第143期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円	%	%	%	%	%
ブラジル	1,793,730	1,909,806	38,119,737	97.3	97.3	—	57.1	40.2
合 計	1,793,730	1,909,806	38,119,737	97.3	97.3	—	57.1	40.2

(注) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄		第143期末					
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
		%	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円		
ブラジル	国債証券	BRAZIL-LTN(LETRA TESO NA)	—	261,100	260,557	5,200,731	2020/10/1
		BRAZIL-LTN(LETRA TESO NA)	—	248,800	231,494	4,620,621	2022/1/1
		BRAZIL-NTN-F(NOTA TESO N)	10.0	291,080	297,659	5,941,283	2021/1/1
		BRAZIL-NTN-F(NOTA TESO N)	10.0	766,300	859,534	17,156,316	2023/1/1
		BRAZIL-NTN-F(NOTA TESO N)	10.0	226,450	260,560	5,200,784	2025/1/1
合 計						38,119,737	

(注) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

LM・ブラジル国債マザーファンド

運用状況のご報告

第12期 決算日 2020年3月13日

(計算期間：2019年3月14日～2020年3月13日)

－ 受益者のみなさまへ －

法令・諸規則に基づき、「LM・ブラジル国債マザーファンド」の第12期の運用状況をご報告申し上げます。

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	1. 主としてブラジル・リアル建てのブラジル国債を中心に投資を行います。 2. 原則として外貨建資産の為替ヘッジを行いません。 3. 債券の流動性や残存年数に配慮しながらポートフォリオを構築します。
主 要 運 用 対 象	ブラジル・リアル建てのブラジル国債を主要投資対象とします。
組 入 制 限	外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債券率	債先物比率	純資産額
	円	騰落率				
8期(2016年3月14日)	12,677	△ 8.7	97.2	—	—	百万円 59,834
9期(2017年3月13日)	17,469	37.8	96.9	—	—	67,945
10期(2018年3月13日)	17,757	1.6	96.9	—	—	60,032
11期(2019年3月13日)	17,432	△ 1.8	97.0	—	—	51,018
12期(2020年3月13日)	14,082	△19.2	97.3	—	—	46,112

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		債組入比率	債券率	債先物比率	債券率
	円	騰落率				
(期首) 2019年3月13日	17,432	—	97.0	—	—	—
3月末	16,986	△ 2.6	97.4	—	—	—
4月末	16,988	△ 2.5	96.7	—	—	—
5月末	16,767	△ 3.8	96.2	—	—	—
6月末	17,509	0.4	95.9	—	—	—
7月末	18,027	3.4	98.6	—	—	—
8月末	16,054	△ 7.9	98.1	—	—	—
9月末	16,586	△ 4.9	97.8	—	—	—
10月末	17,704	1.6	97.3	—	—	—
11月末	16,813	△ 3.6	96.3	—	—	—
12月末	17,565	0.8	96.6	—	—	—
2020年1月末	16,830	△ 3.5	98.9	—	—	—
2月末	16,069	△ 7.8	98.5	—	—	—
(期末) 2020年3月13日	14,082	△19.2	97.3	—	—	—

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。



○基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はマイナスとなりました。為替損益が、ブラジルリアル安・円高を反映して大幅なマイナス寄与となりました。一方、ブラジルの金利水準が相対的に高いことから、公社債利金を手堅く確保しました。公社債損益については、基準価額への影響は大きくありませんでした。

当期のブラジル債券市場では、利回りが低下（価格は上昇）しました。

期の前半は、利回りは概ね横ばいで推移しました。その後、年金改革法案審議の進展期待が強まったことや、ブラジル中央銀行（BCB）による利下げ観測が強まったことなどから、利回りは低下しました。

期の半ばは、米中貿易摩擦激化への懸念などを背景に、投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、利回りは一時上昇（価格は下落）しました。しかし、BCBが利下げを決定したことや、年金改革法案が議会承認されたことなどが好感され、利回りの低下が進みました。

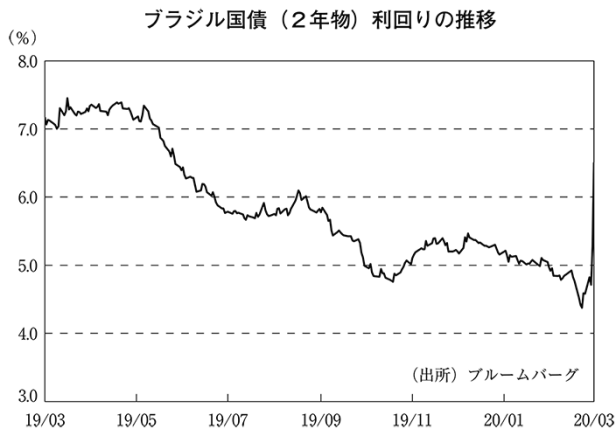
期の後半は、米中貿易協議における合意を背景に投資家のリスク回避姿勢が後退したことなどから、利回りは低下しました。その後、新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済への影響が懸念され、BCBによる金融緩和と政策が長期化するとの見方が強まったことから、利回りは低下しました。しかし、当期末にかけては、リスク回避姿勢が強まったことから、利回りは急上昇しました。

当期のブラジルリアル・円相場は、リアル安・円高となりました。

期の前半は、世界経済の減速懸念が高まったことや、新興国通貨が軟調となった流れを受け、リアル売り・円買いが優勢となりました。しかし、その後は、年金改革法案審議の進展期待などを背景に、リアルは対円で底堅く推移しました。

期の半ばは、BCBが利下げを決定したことや、米中貿易摩擦懸念が強まり投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、リアル売り・円買いが強まりました。しかし、その後、年金改革法案が議会承認されたことや、米中貿易協議の進展期待が高まりリスク回避姿勢が後退したことなどから、リアルは対円で底堅く推移しました。

期の後半は、米中貿易協議が合意に達し投資家のリスク回避姿勢が後退したことなどから、レ



ル買い・円売りが優勢となりました。しかし、その後、BCBによる利下げ観測が強まったことや、新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済への影響が懸念されたことなどから、リスク回避姿勢が強まり、リアル売り・円買いが急速に進みました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用に努めてまいりました。当期においては、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築しました。

○今後の運用方針

主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行い、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築してまいります。

○1万口当たりの費用明細

(2019年3月14日～2020年3月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	円 25 (25)	% 0.150 (0.150)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	25	0.150	
期中の平均基準価額は、16,991円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2019年3月14日～2020年3月13日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	ブラジル	国債証券	千ブラジルリアル 1,907,795	千ブラジルリアル 1,234,745 (329,000)

(注) 金額は受渡し代金。(経過利息分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2019年3月14日～2020年3月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2020年3月13日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円	%	%	%	%	%
ブラジル	1,977,130	2,046,946	44,869,076	97.3	97.3	—	52.1	45.2
合 計	1,977,130	2,046,946	44,869,076	97.3	97.3	—	52.1	45.2

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄		当 期 末				
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
ブラジル		%	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円	
	国債証券					
	BRAZIL-LTN (LETRA TESO NA)	—	215,000	214,438	4,700,492	2020/4/1
	BRAZIL-LTN (LETRA TESO NA)	—	428,000	417,821	9,158,641	2020/10/1
	BRAZIL-LTN (LETRA TESO NA)	—	18,800	17,146	375,853	2022/1/1
	BRAZIL-NTN-F (NOTA TESO N)	10.0	291,080	301,902	6,617,707	2021/1/1
	BRAZIL-NTN-F (NOTA TESO N)	10.0	713,300	761,083	16,682,941	2023/1/1
	BRAZIL-NTN-F (NOTA TESO N)	10.0	310,950	334,554	7,333,439	2025/1/1
合 計					44,869,076	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2020年3月13日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	44,869,076	97.0
コール・ローン等、その他	1,369,353	3.0
投資信託財産総額	46,238,429	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(45,463,679千円)の投資信託財産総額(46,238,429千円)に対する比率は98.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、3月13日における邦貨換算レートは1米ドル=105.17円、1ブラジルレアル=21.92円です。

○特定資産の価格等の調査

(2019年3月14日～2020年3月13日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年3月13日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	46,238,429,357
コール・ローン等	776,900,178
公社債(評価額)	44,869,076,656
未収入金	42,783,220
未収利息	542,839,404
前払費用	6,829,899
(B) 負債	125,881,488
未払解約金	125,881,488
(C) 純資産総額(A-B)	46,112,547,869
元本	32,745,533,541
次期繰越損益金	13,367,014,328
(D) 受益権総口数	32,745,533,541口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,082円

<注記事項>

(注) 元本の状況

期首元本額	29,266,666,535円
期中追加設定元本額	10,952,493,082円
期中一部解約元本額	7,473,626,076円

(注) 期末における元本の内訳

LM・ブラジル国債ファンド(毎月分配型)	25,810,864,552円
LM・ブラジル国債ファンド(年2回決算型)	5,316,449,352円
LM・ブラジル・ボンド・ファンド(適格機関投資家専用)	1,618,219,637円

○損益の状況 (2019年3月14日～2020年3月13日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	3,431,973,797
受取利息	3,432,416,832
支払利息	△ 443,035
(B) 有価証券売買損益	△14,197,817,168
売買益	182,678,068
売買損	△14,380,495,236
(C) 保管費用等	△ 79,437,878
(D) 当期損益金(A+B+C)	△10,845,281,249
(E) 前期繰越損益金	21,751,693,055
(F) 追加信託差損益金	7,749,497,620
(G) 解約差損益金	△ 5,288,895,098
(H) 計(D+E+F+G)	13,367,014,328
次期繰越損益金(H)	13,367,014,328

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。